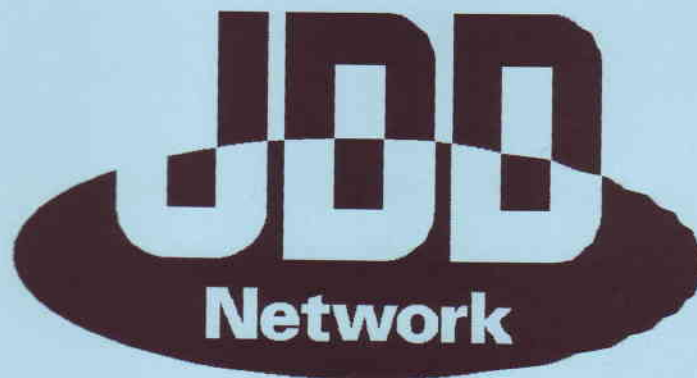


# 次世代育成と発達障害児者支援の 体験博覧会 2009



開催日：平成21年10月18日(日)  
開催場所：愛知東邦大学

.....  
主催：日本発達障害ネットワーク  
共同主催：愛知東邦大学人間学部肥田研究室  
中京大学現代社会学部辻井研究室  
特定非営利活動法人アスペ・エルデの会  
子どものこころの発達研究センター浜松センター  
後援：厚生労働省、文部科学省（予定）  
助成団体：日本財団

## 次世代育成と発達障害児者支援の体験博覧会2009を開催します

日本発達障害ネットワーク代表 田中 康雄

このたび日本発達障害ネットワークは、愛知東邦大学人間学部肥田研究室、中京大学現代社会学部辻井研究室、特定非営利活動法人アスペ・エルデの会、子どものこころの発達研究センター浜松センターとの共同主催で「次世代育成と発達障害児者支援の体験博覧会2009」を10月18日に開催させていただくことになりました。

この体験博覧会は、2007年12月の名古屋で開催したJDDネットの第3回年次大会の時に第1回を同時開催したもので、今回は第2回にあたります。

これは、従来の情報共有型の研修会や、旧交を温めるという集いとは異なり、参加者が個々に必要なことを、主体的に選択し参加すること、さらに、現実の状況を共有し、具体的な支援技法を体験する、といったワークショップです。

第2回の今回も、社会の中で育ちにくさをもつ子どもたちが健やかな育ちをしていけるように、家族は子どもの育ちに安心して関わりをもてるように、全国で活躍されている専門家たちをお呼びしました。

さらに今回も、作家であり、母親でもあり、教育心理学者でもある畑田あけみさんに記念講演を御願ひしております。発達障害の子どもをもつ体験を、多面的な視点から伺える機会になると思います。

企画の段階で設定しているワークショップは、全部で38になっています。複数のワークショップを体験できない、という苦情が既に聞こえてきそうなほど、盛りだくさんです。同じようなテーマでも語る方が異なりますから、それぞれ本当に楽しみです。耳だけではなく、声と心と身体も十分に参加させて、一緒に、それぞれのワークショップを体験してほしいと思っています。

なお、日本発達障害ネットワークは、今後も可能なかぎり、各地域でこうした体験博覧会の開催を検討したいと思っています。参加された方々からの御意見をいただければと思っています。

では、充実した1日をお過ごしください。

## 応援メッセージ

### (株)星和書店

発達障害をお持ちの方、そのご家族のために役立つ本を心をこめて出版してまいります。その出版を通して、皆様のお役にたてるように努力いたします。

### (株)エスコアール

誰にでも「幸せな場所」があり「幸せな生き方」ができると信じてこの体験博が、「困っている今日」より「可能性の明日」に繋がるように皆さんの活動を支援します。

### (株)学苑社

体験博覧会の開催、おめでとうございます。

### (株)金子書房

支援者が、家族が、本人が、発達障害児者支援の技と心を直接体験できる、非常に貴重な会であると思います。開催当日を楽しみにしております。

### 明治図書出版(株)

「次世代育成と発達障害児者支援の体験博覧会2009」を明治図書は応援します！ 小社では、指導力アップのための専門誌『LD&ADHD』を発刊し、教育の分野での支援に努めています。「体験博覧会2009」のご盛会を心よりお祈りしております。

### ジュンク堂書店新宿店

関連書の品揃えで発達障害児者および関係者の方々を応援できたらと思っております。

### 日本イーライリリー(株)

発達障害児者とどのように関わり、どう支援していくのか、患者、支援者の立場を越えて情報を共有し、議論を活発化する貴重な機会であると捉え、貴会の活動に賛同し、博覧会の成功と今後の発展を祈念しております。

### (株)スペクトラム出版社

当事者・支援する人たちが共に成長できるように、これからも応援いたします。

### (株)クリエイツかもがわ

本づくりはムーブメント！ 本の普及を通して、発達障害児者が住みやすい社会をめざして、ともに歩みたいと思っています。

(順不同)

# 次世代育成と発達障害児者支援の 体験博覧会 2009

## ◆開催要項◆

次世代育成と発達障害児者支援の体験博覧会2009は日本財団の助成を受けたワークショップです。社会のなかでの育ちにくさをもつ子どもたちが健やかな育ちをしていけるよう、社会が関心を広げられること、実際にそうした子育ての難しさをもつ子どもたちに対する現状の最新のいろいろな支援技法を紹介し、なおかつ、実際に子どもと家族がそうした支援技法のワークショップに参加できる場を作ること考えたものです。

### 開催日

平成21年10月18日(日)

午前10時～午後5時30分

### 会場

愛知東邦大学

名古屋市名東区平和が丘3-11

### 主催

日本発達障害ネットワーク

### 共同主催

愛知東邦大学人間学部肥田研究室

中京大学現代社会学部辻井研究室

特定非営利活動法人アスペ・エルデの会

子どものこころの発達研究センター浜松センター

### 後援

厚生労働省、文部科学省(予定)

### 概要

#### ●記念講演●

『発達障害だって大丈夫』堀田あけみ(作家)

#### ●ワークショップ●

# 次世代育成と発達障害児者支援の 体験博覧会2009

## 〈プログラム〉

### ■記念講演『発達障害だって大丈夫』○B棟101号

堀田あけみ(作家) 開催時間:10:00-11:30 定員190名

自閉症の男児の母でもある堀田あけみさんに、講演をお願いしました。  
教育心理学者でもある堀田さんの眼差しで、発達障害の子どもを持つ体験を、  
親しみやすい語り口でお話いただけます。

### ■ワークショップ

1. 発達障害の子どものための文章の書き方入門／堀田あけみ(作家・アスペ・エルデの会)
2. 子どもの日常の様子から支援の方向性とアイデアを考える／安達 潤(北海道教育大学)
3. 家族支援の取り組み (支援者向け)／井上雅彦(鳥取大学)
4. 通常学級における発達障害の特性を持つ子供たちへの学習支援／萩原拓(北海道教育大学)
5. 思春期～成人期当事者の自己理解のために  
—臨床描画法(○△□物語法)とWISC-Ⅲ(WAIS-Ⅲ)の臨床的活用入門／木谷秀勝(山口大学)
6. こだわり行動への対処と工夫の仕方／  
白石雅一(宮城学院女子大学・宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」・臨床心理士)
7. 感覚過敏性への対応／岩永竜一郎(長崎大学)
8. 自助グループ作り講座 (高機能広汎性発達障害児・者)／  
柏木理江(アスペの会・東京) 尾崎ミオ(NPO法人東京都自閉症協会)
9. 子どもの精神科における他職種との連携／田中康雄(北海道大学)
10. お薬について詳しく知る／市川宏伸(梅が丘病院)
11. ディスレクシア入門／NPO法人エッジ(藤堂栄子)／吉田やすえ他、酒井亮裕
12. 3歳までの対人コミュニケーション行動のアセスメント／  
黒田美保・稲田尚子・監修神尾陽子(国立精神・神経センター)
13. 不登校となった発達障害児への再登校支援／奥田健次(桜花学園大学)
14. PARS入門／  
谷伊織、宮地泰士(浜松医科大学子どものこころの発達研究センター)、行広隆次(京都学園大学)
15. ペアレント・トレーニング入門／石川道子(アスペ・エルデの会)

17. 読み書き障害への具体的支援方法を学ぶ(中級編)／ 大岡治恵(日本福祉大学中央福祉専門学校言語聴覚士科)	
18. 子どもと家族、教師のためのリラクゼーション入門／小泉晋一(岐阜聖徳学園大学)	
19. ASDの子どもの「感情をきりかえる」アプローチ／明蕪光宜(東海学院大学)	10:00 room
20. 感情の理解とコントロールの基礎／伊藤有美子・片岡尚子(アスペ・エルデの会)	10:00 101A
21. 完璧主義の子どものための認知行動療法アプローチ入門／林 陽子(アスペ・エルデの会)他	10:00 101A
22. きょうだいへの支援／田倉さやか(日本福祉大学)	10:00 101A
23. 発達障害ガイダンス・プログラム『はじめの一步』のプログラム／岡田宏子(アスペ・エルデの会)	10:00 101A
24. ASDの思春期男性への性と関係性の教育プログラム; 思春期男子のための「カッコいいおとなになるための三つのヒントを学ぼう!」／ 川上ちひろ(アスペ・エルデの会)	10:00 101A
25. ASDの思春期女性への性と関係性の教育プログラム; 思春期女子のための「すてきなおとなになるための三つのヒントを学ぼう!」／ 川上ちひろ(アスペ・エルデの会)	10:00 101A
26. 自閉症の生物学的精神医学研究入門(PET画像研究、分子遺伝学研究)の展望 —診断の向上、治療に結びついてゆくか—／中村和彦(浜松医科大学精神科)	10:00 101B
27. 社会性支援の第一歩:困ったときの対応法／大隅香苗(浜松医科大学精神科)他・辻井正次	10:00 101B
28. 自閉症スペクトラムの診断方法(DISCOを用いて)／内山登紀夫(よこはま発達クリニック・福島大学)	
29. 1-2歳での早期介入の意義と実際／永田雅子(名古屋大学)	10:00 101B
30. 動作法・身体からのアプローチ入門／ 中島俊思(浜松医科大学子どものこころの発達研究センター)	10:00 101B
31. 思春期に行いたい生活スキル支援／豊田佳子(共和病院)	10:00 101B
32. 「SCERTSモデル」によるASD児への早期発達支援 —その理論とアセスメント・プログラム—長崎勤(筑波大学)	10:00 101B
33. ASDの心理検査の理解／内田裕之(大阪大学)	10:00 101B
34. 発達障害者支援法を正しく理解し活用する／大塚晃(上智大学)	10:00 101B
35. 怒りと不安のコントロール入門／辻井正次(中京大学)	10:00 101C
36. 発達障害の子どものための双方向性コミュニケーション支援入門／水間宗幸(九州看護福祉大学)	10:00 101C
37. 発達障害の子ども(思春期)のための相互交渉づくり入門／長峰伸治(金沢大学)	10:00 101C
38. 香りによる気持ちの調節—アロマセラピー—の効果を発達障害のある人と家族のために／ 伊藤あづさ(みやぎ発達障害サポートネット)	10:00 101C

# 日本発達障害ネットワーク 第5回年次大会

Japan Developmental Disabilities Network  
5<sup>th</sup> Annual Convention



2009年12月12日～13日  
成蹊大学（東京）

# 日本発達障害ネットワーク 第5回年次大会開催に寄せて

大会長 上野 一彦 (東京学芸大学名誉教授・一般社団法人日本LD学会理事長)

大きな政治的変動、新型インフルエンザの流行など、さまざまな出来事がありました本年も、その幕を閉じようとしております。その最後を飾る行事として12月12、13日の両日に東京郊外の成蹊大学キャンパスにおいて、恒例の日本発達障害ネットワーク第5回年次大会(第2回研修会)を開催いたします。

特別支援教育も本格実施に移されて3年目、まさにその正念場を迎えようとしています。私たち日本発達障害ネットワーク(JDD ネット)は、発達障害に関係する当事者団体・親の会や学会・研究会、職能団体など、全国団体・地方団体によって構成される幅広いネットワークです。個性尊重の社会の実現を目指す動向のなかで、JDD ネットの果たすべき役割はますます重くなってきていると実感いたします。

さて、さまざまな願いを込めて、今回の大会メインテーマを、『発達障害：共に生きる豊かな明日～理解の段階から、個性尊重の社会の実現を目指して』といたしました。年次大会と同時にさまざまな研修会も同時に開催いたします。

今回の年次大会は、7つの会場を使い、講演、自主企画、専門家企画/ワークショップ、当事者団体企画、行政動向・制度、本人トーク/バラエティー、ビギナー向けプログラムに加え、会員の団体ブースも設けました。

講演では、田中康雄代表をはじめ、発達障害と司法の動向について辻川圭乃弁護士、最新の発達障害に関する医療動向について山末英典氏(東京大学)や国会議員をお招きした討論等を企画しました。また、厚生労働省や文部科学省をお招きした行政トーク、野沢和弘氏(毎日新聞)と田中正博氏(全国地域生活支援ネットワークの代表理事)の鼎談や本人トーク等を予定しています。またビギナー向けの教育講演として、特別支援教育、発達障害者支援、就労、疑似体験予定する等、多彩なプログラムを贅沢に用意しています。

大会の実施にあたりましては、日本財団の助成金を頂戴し、また多くの機関にご後援をいただき開催させていただくものです。改めて感謝申し上げます。

多くの方々の参加と参加される皆様のご協力によって、よき出会いとよき学びができる大会になることをこころから期待いたします。

<p>大会の実施にあたりましては、日本財団の助成金を頂戴し、また多くの機関にご後援をいただき開催させていただくものです。改めて感謝申し上げます。</p>	<p>多くの方々の参加と参加される皆様のご協力によって、よき出会いとよき学びができる大会になることをこころから期待いたします。</p>
<p>大会の実施にあたりましては、日本財団の助成金を頂戴し、また多くの機関にご後援をいただき開催させていただくものです。改めて感謝申し上げます。</p>	<p>多くの方々の参加と参加される皆様のご協力によって、よき出会いとよき学びができる大会になることをこころから期待いたします。</p>
<p>大会の実施にあたりましては、日本財団の助成金を頂戴し、また多くの機関にご後援をいただき開催させていただくものです。改めて感謝申し上げます。</p>	<p>多くの方々の参加と参加される皆様のご協力によって、よき出会いとよき学びができる大会になることをこころから期待いたします。</p>
<p>大会の実施にあたりましては、日本財団の助成金を頂戴し、また多くの機関にご後援をいただき開催させていただくものです。改めて感謝申し上げます。</p>	<p>多くの方々の参加と参加される皆様のご協力によって、よき出会いとよき学びができる大会になることをこころから期待いたします。</p>





# 日本発達障害ネットワーク第5回年次大会

日本発達障害ネットワーク（JDD ネット）は、発達障害関係の当事者団体・親の会や学会・研究会、職能団体などの全国団体・地方団体による幅広いネットワークで、全国団体 17、エリア団体 46 が加盟しています。日本発達障害ネットワークは、障害の種別、学会・学派、職種、立場や主張、地域等の壁を越え、当事者支援を主眼に置いたネットワークです。

年次大会は発達障害に関係する全ての方が一堂に会して開催するもので、日本財団の助成金を受けて実施します。

## 《実施要項》

日時：平成 21 年 12 月 12 日（土）午前 10 時 00 分～午後 5 時 00 分 第 2 回研修会

平成 21 年 12 月 13 日（日）午前 9 時 30 分～午後 6 時 00 分 年次大会（第 2 回研修会）

会場：成蹊大学

東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 JR 中央線・京王井の頭線「吉祥寺」駅より路線バス 5 分

【定員】約 1,200 名【参加費】会員 3,000 円(事前申込)、4,000 円(当日参加)／非会員 4,000 円(事前申込)、5,000 円(当日参加)【懇親会費】5,000 円

【大会テーマ】『発達障害：共に生きる豊かな明日～理解の段階から、個性尊重の社会の実現を目指して』  
加盟団体・会員の交流と学びの場であるとともに、活発な議論と意見表明の機会であることを重点に企画

【主催】日本発達障害ネットワーク（JDD ネット）

【後援】厚生労働省、文部科学省、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、日本障害者協議会、日本障害者リハビリテーション協会、全日本手をつなぐ育成会、NHK 厚生文化事業団、明治安田こころの健康財団、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社

【大会実行委員長】上野一彦（日本 LD 学会理事長、JDD ネット理事）

## 《プログラム》（12月13日 ※一部研修会を除く）

### ■ 4号館ホール

10:20～11:10	講演 1	『発達障害のある方々への支援を考える～生活障害としての視点から～』 田中 康雄（JDD ネット代表、北海道大学大学院教授）
11:10～12:00	講演 2	『これからの特別支援教育の方向と課題』 上野 一彦（日本 LD 学会理事長）
13:00～14:00	講演 3	『発達障害と裁判員裁判～魔女裁判にしないためにしなければならないこと』 辻川 圭乃（弁護士）
14:00～16:00	討 論	『どうする！「これからの発達障害者施策」』 与野党国会議員の登壇を予定 司会：氏田 照子（日本発達障害ネットワーク副代表）、コーディネーター：辻井 正次（日本発達障害ネットワーク政策委員長 / アスベ・エルデの会統括ディレクター） 福島 豊（発達障害の支援を考える議員連盟元事務局長）
16:15～17:05	講演 4	『対人コミュニケーションの障害について～最新の脳科学からの理解』 山末 英典（東京大学大学院医学系研究科精神医学分野准教授）
17:05～18:00	講演 5	『発達障害児者との豊かなコミュニケーション・人間関係を築くために』 長崎 勤（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）

### ■ 3号館 101号

10:00～12:00	オープン 講習	『発達障害と話しことばの問題－発達障害と吃音のある子どもの特性に応じた支援を考える－』 前新 直志（国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科）
13:00～14:30	大会企画	『我が国の特別支援教育と世界の動向』 柘植 雅義（兵庫教育大学大学院教授）、牟田 悦子（成蹊大学文学部教授）、中澤 恵江（国立特別支援教育総合研究所上席統括主任研究員）、笹森 洋樹（国立特別支援教育総合研究所統括研究員）

### ■ 3号館 303号

10:00～12:00	オープン講習	『「アセスメントを支援にどう活かすか？」～WISC-IIIプロフィールの読み取り方を、保護者とともに考える～』 講師:水野 薫 (Space Zero PDD 心理・教育研究所 (前福島大学大学))、岡田 智 (共立女子大学)
13:00～14:30	職能団体企画	『ライフステージを支える作業療法～生活のいとなみのなかで～』 進行:中路純子 (日本作業療法士協会保健福祉部員特別支援教育担当)、講師:辛島千恵子 (名古屋大学医学部保健学科作業療法学専攻・教授)
14:40～18:00	大会企画	『徹底討論! JDD ネットがめざすべきもの』 藤坂 龍司理事、田中 康雄代表、市川 宏伸副代表、倭文 真知子副代表 他

### ■ 3号館 304号

9:30～12:30	オープン講習	『自閉症児への発達論的アプローチの最前線～社会性・人間関係の形成を中心に』 話題提供者:中西 郁 (東京都教育庁指導部)、長崎 勤・吉田仰希・仲野真史 (筑波大学人間総合科学研究科)、中村 晋・若井広太郎・吉井勘人 (筑波大学附属大塚特別支援学校) 指定討論者:太田昌孝 (心の発達研究所)
13:00～14:30	加盟団体自主企画	『全国 LD 親の会企画シンポ「LD 等の発達障害のある人の教育から就業への移行支援～LD 親の会の実践から～」』 話題提供:内藤 孝子 (NPO 法人全国 LD 親の会理事長) 他、指定討論:松為 信雄 (神奈川県立保健福祉大学教授)
14:40～16:20	加盟団体自主企画	日本トゥレット協会企画シンポジウム『トゥレット症候群を取り巻く現状と対応』 高木 道人 (NPO 法人日本トゥレット協会会長)、金生 由紀子 (東京大学准教授)、有澤 直人 (小学校教諭)

### ■ 5号館 101号

10:30～12:00	発達障害施策	『特別支援教育:地方分権下でのユニークな取り組みと格差』 柘植 雅義 (兵庫教育大学大学院教授)、話題提供:菅原 幸信 (東京都渋谷区教育委員会課長)、北上 玲子 (兵庫県猪名川町教育委員会室長)
13:00～14:30	発達障害施策	行政トーク『発達障害者支援の現状と国の取り組みについて』 福田 祐典 (厚生労働省精神・障害保健課長)、奈尾 基弘 (厚生労働省障害者雇用対策課長)、斎藤 尚樹 (文部科学省特別支援教育課長)、司会:山岡 修 (JDD ネット副代表)
14:40～16:20	発達障害施策	『発達障害児者の今後の支援について』 大塚 晃 (上智大学総合人間科学部社会福祉学科教授)
16:30～18:00	発達障害施策	対談:『今後の障害施策を語る～今後の障害者福祉はどうあるべきか?』 野沢 和弘 (毎日新聞論説委員) 田中 正博 (NPO 法人全国地域生活支援ネットワーク理事長)

### ■ 5号館 102号

10:30～12:00		
13:00～14:30	大会企画	対談:『専門家が語る～発達障害のある人たちから教わったこと』 上野 一彦 (日本 LD 学会理事長)、竹田 契一 (特別支援教育士資格認定協会代表理事)
14:40～16:20	大会企画	本人トーク:『当事者が語る～サバイバル・ライフのすすめ』 コメンテーター:高森 明 (NPO 法人東京都自閉症協会)、神山 忠 (岐阜県立関特別支援学校教諭)、嘉村 賢州 (特定非営利活動法人場とつながりラボ home's vi 理事)
16:30～18:00	大会企画	『発達障害に関する2つの情報センターから』 深津 玲子 (発達障害情報センター センター長)、瀧美 義賢 (発達障害教育情報センター センター長)

### ■ 5号館 201号

10:30～12:00	教育講演	『発達障害者支援の概要』日誌 正文 (厚生労働省社会・精神・障害保健課発達障害対策専門官)
13:00～14:30	教育講演	『特別支援教育を支え、広げるために今できること』緒方 明子 (明治学院大学心理学部教授)
14:40～16:00	教育講演	『「発達障害」の疑似体験～「発達障害」の世界にふれてみよう～』 鳥居 深雪 (植草学園大学発達教育学部准教授)
16:15～18:00	教育講演	『発達障害のある人の就労における課題と支援』小川 浩 (大妻女子大学人間関係学部教授)

### ■ 同時開催:第2回研修会(職能団体企画・オープン講習) ※12日

4号館ホール	特別支援教育士認定協会『発達障害児・者のライフステージ～医学的視点からのアプローチ』
9号館 201号	日本精神保健福祉士協会『発達障害者支援と精神保健福祉士』
9号館 202号	日本作業療法士協会『作業療法士が行う発達障害児・者への支援の実践』

※タイムスケジュールは巻末参照。